

## あわや死傷事故！ 検修庫内で金属板落下！

東京仕業検査車両所・第二検修庫において、死傷事故にもなりかねない金属板の落下事故が発生しました。

4月30日午前6時20分頃、庫5番線で作業をしていた仕業検査担当の社員へ関係会社の責任者から、庫6番線のパン点検台昇降階段中間踊り場側面にある金属製の板が落下したという報告がありました。確認したところ、昇降階段中間の踊り場側面にある化粧板3枚の内、真ん中の1枚が落下していました。落下した金属板は30センチ×240センチほどで重さは7キロだったといえます。

落下した場所は16号車No.2台車の海側であり、このときまさに仕業検査の最中だったのです。今回はたまたまそこに誰もいなかったために負傷者はいませんでした。落下時にもしもこの個所を検査中だったら、作業者を直撃していたと考えるとゾッとします。このような重大な事態だったのです。

## 改善策を怠ってきた人災だ！

落下事故が発生した検修庫は築40年を超える建物で、当該の階段も錆びによる腐食がすすんでおり、老朽化が主要因だと思われます。

職場では「リニア建築の経費捻出の為に作業環境が悪化している。冰山の一角だ。」という声が出ています。

新幹線地本はこの間「検修庫の老朽化や設備の不備の早急な改善・対策が必要である」と再三再四にわたって早急な改善を求めてきましたが、会社は「必要な対策は行っている」としか答えず、具体的な改善策は何ら講じてこなかったのです。その結果が今回の事故です。新幹線地本は、これはまさに人災であると強く抗議しました。



## 作業環境の迅速な改善を申し入れ！

新幹線地本は今回の事故を重く受けとめ、事故の原因究明と、検修庫の設備・作業環境についての総合点検を外部の専門家も活用して早急に実施し、危険個所については迅速に改善策を講じることを強く要請し、5月2日申し入れを行いました。

## 安全で快適な作業環境をつくろう！

